

孤児こなし 両親—ない—子供。

港 掌を左側にし指頭を前方にさした人差指の右手、掌を右側にし指頭を前方にさした人差指の左手。この両手を平行にして共に人差指をかぎ形に曲げる。港の防波堤の形。

見習 (1)見る—真似—勉強。

見張り 「監督」と同じ手まね。

未満 五指の指頭を右にさし掌を下に向け  
た左手の下に、五指の指頭を上をさし掌を内  
側にした右手を、僅かの隙をおいてT字形に  
する。その線(左手)に、達しないこと。

土産 五指の指頭を右にさし掌を上に向け  
た左手のかなりの上方で、五指の指頭を集め  
合わせて掌を下に向けた右手を物をぶらさげ  
た心持で両手を僅かに上下させる。紐でくく  
った土産物を左手にのせ、右手でぶらさげた  
姿。

明後日 二の敷(指頭を上をさした中指と  
人差指)を肩の辺りから前方へ押し出す。  
「二つ未来」のこと、または「寝る—二つ未  
来」

明日 「明後日」の要領。一の敷(指頭を  
上にさした人差指)を肩の辺りから前方へ押  
し出す。「一つ未来」のこと。または「寝る  
—一つ—未来」

身寄り (1)たよる人々。(2)親戚—友人。(3)  
「身寄りが無い」は「孤独」の手まね。

未来(今後、以後) 五指の指頭を上をさ

し掌を前向けに  
した右手を右肩  
辺りから前方へ  
押し出すように  
する。鉢より前  
方を未来とする。

ミルク 「乳」と同じ手まね。



未練 諦らめる——むつかしい。

ム

無益 (無駄) 「損」と同じ手まねをする。

無学 「本」の手まねをして、五指の指頭を右にさし掌を内側にした右手で両眼を塞さぐ。

昔年——過去。

麦 「米」の手まねの「白」のかわりに「茶色」で表わす。

昔馴染 過去——から(時の流れ)——友。

報いる 「五分五分」と同じ手まね。

無効 「損」「無益」と同じ手まね。

無罪 悪い——責任——ない。

虫 小指を曲げ伸ばしして、その手を横に移動させる。

無邪気 心——赤ちゃん——適當。

柔盾 理由——合わない(適しない)。

無情 心——冷い。

息子 生まれる——男性(中指)

娘 生まれる——女性(薬指)

無雜作 骨折り——簡單。

無斷 「黙る」と同じ手まね。

無智 「馬鹿」と同じ手まね。

無茶 「出鱈目」と同じ手まね。

むつかしい 親指と折り曲げた四指で(即ち人差指との間)同じ側の頬を深くつまむ。

無念 「残念」と同じ手まね。

無能 腕前——知識——ない。

無用 必要——ない。

村 農業——家——家——家。「家」は位置を離して二つ三つ表わす。家がまばらに建っている様。

紫 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手を指頭で右頬につけ、後方へ掃くように